

学力調査(国語)

※ の箇所は、著作権の関係により省略しています。

注 意

解答はすべて解答用紙に記入してください。
解答用紙に、受験番号と氏名を書いてください。

一

次の傍線部のカタカナの漢字として正しいものを、次のア～オの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

1 あの作品はジョ情的で、意外な展開が期待できる。

ア 徐 イ 除 ウ 如 エ 序 オ 叙

2 頂戴したお菓子は、この地域を代表するメイ菓です。

ア 冥 イ 銘 ウ 明 エ 名 オ 米

二

次の傍線部の漢字の読みとして正しいものを、次のア～オの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

1 朝は、爽やかな音楽を聴きながら目覚めたい。

ア あで イ おだ ウ さわ エ かる オ すず

2 幼なじみの結婚式で、懐かしい顔ぶれと出会った。

ア いぶ イ はず ウ むつ エ なつ オ こぎ

三

次の問題文1、2について傍線部のカタカナと同じ漢字を使用するものを、ア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

1 湖の水はセイチョウで、その透き通った美しさに心が洗われるようだ。

ア 社会的弱者の権利をいかに守るか議論の末に、セイアンを得た。

イ 運命の人に出会った、あのセイロウな夏の日のことは忘れない。

ウ 乱高下する株価に対しては、セイカンするのが賢明と判断した。

エ 彼女のセイレン潔白な人柄が、多くの支持を集めた理由だろう。

オ セイレイの宿る神秘的な森を舞台に、不思議な物語が展開する。

2 湿原に咲きほこる白い花の甘いホウコウを、胸いっぱい吸い込んだ。

ア 組織をホウゴウするために特殊な糸が用いられ、手術は成功した。

イ 師匠の教えを胸に、感謝ホウオンの心で後輩たちを導いていこう。

ウ いつも親しく交わっている人のことを、中国語でホウユウと呼ぶ。

エ 春になると故郷の村では、五穀ホウジョウを祈願する祭りを行う。

オ ごホウメイとは呼称の敬語表現で、冠婚葬祭の記帳で使用される。

四

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

※この問題は著作権の関係により省略しています。

※この問題は著作権の関係により省略しています。

※この問題は著作権の関係により省略しています。

問一 傍線部(1)

と筆者は述べているか。次のア～エのうち、筆者の考えとして当てはまるものには○、当てはまらないものには×をつけなさい。

エ ウ イ ア

問二 空欄

A

B

に当てはまる語の組み合わせとして、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

エ ウ イ ア

A

B

問三 傍線部(2)

の意味として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア

イ

ウ

エ

問四 空欄

C

に当てはまる文として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

エ ウ イ ア

問五 傍線部(3)

とあるが、
として、筆者は何を挙げているか。
本文から三字で抜き出なさい。

問六 筆者の考えをまとめたものとして、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

エ ウ イ ア

--

五

次の文章は、二〇二一年から二〇三三年にかけ、日本および世界各国で行われた、「培養肉に関する意識調査」の結果をまとめた本からの一部抜粋である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

※この問題は著作権の関係により省略しています。

※この問題は著作権の関係により省略しています。

※この問題は著作権の関係により省略しています。

※この問題は著作権の関係により省略しています。

(竹内昌治・日比野愛子『培養肉とは何か?』による)

※1

※2

※3

問一 空欄 A に入る語として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア

イ

ウ

エ

問二 傍線部 (1) とあるが、この調査の目的は何か。目的として当てはまらないものを、次のア

～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

エ ウ イ ア

問三 傍線部(2) とあるが、その際、筆者は何か有効だと示唆しているか。本文から十九字で抜き出し、最初の五字を書きなさい。

問四 傍線部(3) とあるが、その説明として当てはまるものに○、当てはまらないものに×をつけなさい。

オ エ ウ イ ア

問五 空欄 B に入る文として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

エ ウ イ ア

問六 次の文章のうち、筆者の考えをまとめたものとして、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

エ ウ イ ア

六

図1と図2は、総務省による令和六年能登半島地震に関連した情報通信状況についての調査結果である。次の問いに答えなさい。

問一 図1は、年代別の「地震に気づいた後に最初にアクセスしたメディア」の回答率を示したものである。図1をもとに、次の文章の空欄を埋めなさい。

年代が上がるほど、「A」に最初にアクセスする割合が高くなり、60代では「B」%を占めている。20代では「C」を選ぶ割合が他の年代に比べて高く、「D」%となっている。

問二 図2は、SNS上で真偽不明な情報が拡散される心理的な背景を示したものである。図2をもとに「多く回答された利他的な動機」と、「35%を超える回答率となった利己的な動機」を読み取り、その動機の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 「他の人に役立つ情報だと思ったから」／「注目してもらえと思ったから」
- イ 「周囲に注意を促すため」／「不安を感じたから」
- ウ 「他の人に役立つ情報だと思ったから」／「興味深かったから」
- エ 「ひっ迫した状況だと思ったから」／「興味深かったから」

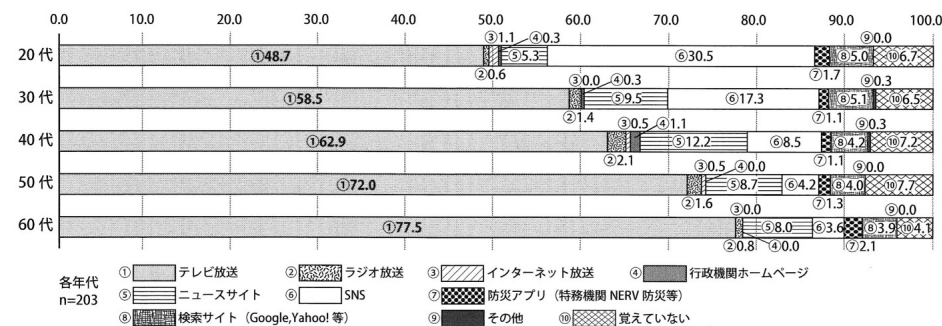


図1 年代別・地震に気づいた後に最初にアクセスしたメディア

問三 図1と図2の結果から、震災時にSNSを使う利点と課題を整理し、高校生の皆さんが情報を受け取る立場だったら、どのような姿勢や行動が必要だと思うか、自分の考えを一五〇字～二〇〇字で述べなさい。

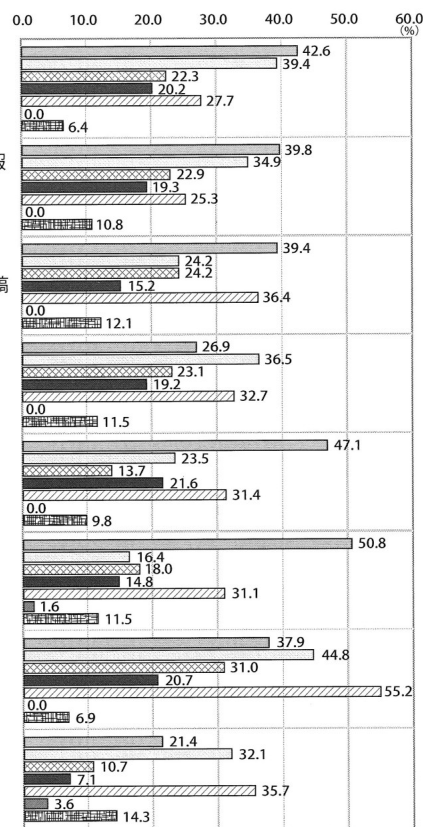


図2 真偽不確かな情報を拡散した理由(項目別)

(注) 図1、2は、総務省(2024)のデータをもとにグラフの見た目のみ加工し作成した。
なお、図2は、SNS上で真偽不明な情報を見かけ、実際に拡散したと答えた人(全体の25.5%、n=793)が、その理由を選んだ割合を示している。

(出典) 総務省(2024)国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究